12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 独立行政法人労働者健康安全機構　旭労災病院

病院施設番号：030442

区分	内科	救急部門	外科	麻酔科（部門）	小児科	産婦人科	又は 産科	又は 婦人科	精神科	病院で定めた必修科目の診療科 皮膚科	泌尿器科	眼科	その他の研修を行う診療科 耳鼻咽喉科	病理診断部		合計
年間入院患者実数 （）内は救急件数又は分娩件数	2,685	（　）	1,206		14	（　）	（　）			3	483	81	111			4,583
年間新外来患者数	4,181		1,835		878			57		402	397	58	286			8,094
１日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	241.2 (243)	（　）	100.5 (243)	（　）	15.9 (243)	（　）	（　）	7.2 (243)	（　）	47.5 (243)	51.4 (243)	40.5 (243)	32.0 (243)	（　）	（　）	
平均在院日数	15.9		20.0		1.8					13.3	5.0	2.0	4.5			
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）	23 (12)	2 (1)	6 (1)	1 （ ）	3 (2)	1 (0)	（　）	1 （0）	（　）	1 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 （0）	（　）	43 (21)

※　「年間入院患者実数」とは、当該年度の前々年度の繰越患者数に当該年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、当該年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「１日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、１０．の救急医療の実績の前年度の件数及び１４．の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※　「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※　基幹型臨床研修病院においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和５年度分）													
							臨床研修病院の名称：独立行政法人労働者健康安全機構旭労災病院						
							病院施設番号：030442						
基幹型病院名	担当分野	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
旭労災病院	内科	3	4	4	3	3	5	5	3	1	5	6	4
旭労災病院	救急部門（外科）	2	2		2	2	1		3	4	2	1	3
旭労災病院	救急部門（小児科）	1			1	1				1			
旭労災病院	地域医療			3									
旭労災病院	精神科							1	1	1			
旭労災病院	産婦人科	1	1		1								
旭労災病院	麻酔科					1	1	1					

※　当該年度分、当該年度の次年度分、次々年度分を別様で作成すること。

※　「基幹型病院名」欄には、当該病院が当該年度、当該年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各月に受け入れる研修医の延人数（研修期間１月について１人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入すること（選択科については記入しないこと）。

※　担当分野が選択必修科目又は選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数　　既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和　6　年度分）	臨床研修病院の名称：独立行政法人労働者健康安全機構　旭労災病院 病院施設番号：030442

基幹型病院名	担当分野	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
旭労災病院	内科	2	2	2	1	1	4	3	2	1	3	4	2
旭労災病院	救急部門（外科）	1	1	1	1	1		1	2	3	1		2
旭労災病院	救急部門（小児科）	1				1			1	1	1	1	1
旭労災病院	地域医療				2	1							
旭労災病院	精神科			1	1		1						
旭労災病院	産婦人科	1	1	1									
旭労災病院	麻酔科		1			1		1					

※　当該年度分、当該年度の次年度分、次々年度分を別様で作成すること。

※　「基幹型病院名」欄には、当該病院が当該年度、当該年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各月に受け入れる研修医の延人数（研修期間１月について１人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入すること（選択科については記入しないこと）。

※　担当分野が選択必修科目又は選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数　　既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（令和　7　年度分）	臨床研修病院の名称：独立行政法人労働者健康安全機構　旭労災病院 病院施設番号：030442

基幹型病院名	担当分野	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
旭労災病院	内科	2	2	2	1	2	4	3	3	1	3	4	3
旭労災病院	救急部門（外科）	1	1	1	1		1	1	2	3	1	1	2
旭労災病院	救急部門（小児科）	1				1				1	1		
旭労災病院	地域医療				2	1							
旭労災病院	精神科			1	1		1						
旭労災病院	産婦人科	1	1	1									
旭労災病院	麻酔科		1			1		1					

※　当該年度分、当該年度の次年度分、次々年度分を別様で作成すること。

※　「基幹型病院名」欄には、当該病院が当該年度、当該年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各月に受け入れる研修医の延人数（研修期間１月について１人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入すること（選択科については記入しないこと）。

※　担当分野が選択必修科目又は選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。